

今号の作業

リヤブレーキパネルを 仮組みする



今号では、リヤブレーキパネルにリヤブレーキストッパーアームを取り付けた後、リヤホイールへの仮組みを行う。先号のファイナルドリブンスプロケットと同様、最終的な取り付け作業はリヤフォークが提供されてからになるが、仮組みを行うことで本番の作業効率が大きく向上する。

今号のパーツ



②



- ①リヤブレーキパネル×1
- ②リヤブレーキストッパーアーム×1

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

使用する道具

・特になし

用意するもの

・リヤタイヤ&ホイール(26号で組み立て、保管しておいたもの)
・ビニール袋(リヤタイヤを収納できるサイズのもの)

STEP
1



まず、①リヤブレーキパネル表面の形状を確認しておこう。写真で示したように、中央の円柱状の突起には切り欠きがあり、外縁部には2つの穴が設けられている。

STEP
2



リヤブレーキパネルの裏面。写真で示した穴は、表面にあった“大きい方の穴”だ。この穴は貫通しており、後の号で提供されるリヤブレーキアームが取り付けられる。



②リヤブレーキストッパーアームを用意する。先端の片側にはピンが設けられており、それを写真に示したリヤブレーキパネルの穴へセットする。



リヤブレーキストッパーアームのピンを穴へ押し込む。アームは完全に固定されず、ピンを支点にして上下に動く状態になる。



リヤタイヤ&ホイールを写真の向きにし、その中心へリヤブレーキパネルをセットする。



リヤブレーキパネルの裏面には、外縁部の内側に「リブ(=板状の突起)」がある。それをホイール中央部のくぼみにぴったりとはめ込む。



26号で組み立てたリヤタイヤ&ホイールを用意し、タイヤとホイールがしっかりとめ込まれているかを確認する。



これで今回の作業は完了だ。リヤブレーキパネルは、ホイールの中央部に乗っただけなので、簡単に外れてしまうが、この状態でビニール袋に入れて保管すれば、パーツの脱落を防ぐだけでなく、メッキパーツに傷や汚れが付着するのを防止できる。もしも手ごろなサイズのビニール袋が用意できなかった場合は、ブレーキパネルをタイヤ&ホイールから取り外し、分けて保管した方が安全だ。